

傘寿記念 第10回東京高津二八会 速報スナップ

6月12日(木)。停滞していた梅雨前線で大雨のおそれもあったが、しだいに小降りとなり、午後には止んだ。

参加は、全16人で以下の写真の顔ぶれ。

関西から荒天なのに出てくれた荒田、竹村、松浦、山本、小豆澤、木藤、それに静岡の神の皆様方“ホンマニ、よう来てくれはった”。



(左前から) アルファベットはクラス名
木村(岡田) 英紀子 F、竹村秀雄 A、山本健太郎 C、
 蓑田光弘 A 松原(城) 和子 B、木藤(平野) 朝子 D
(後列)
荒田直子 A、伊藤公博 F、筋田俊三 C、加納忠信 C、
 長谷聖一郎 F、神(岸本) 美代子 A、野田泰弘 E、
松浦武子 B、小豆澤(榎本) 愛美子 D、水谷真次郎 E

原宿駅に定刻11時にみんな集まった。明治神宮には、徒歩参拝の予定だったが、雨なので杜の中を手配の小型バスで本殿近くまで乗った。



祭神は、明治天皇・昭憲皇太后。大正9年創建。空襲で焼失したが、昭和33年再建された。創建時、全国から集められた365種の樹木が、今では、東京ドーム15に相当する壮大な都市内森林になっている。

外人観光客の人気スポットにもなっていて、この日も多様な人々が往来していた。

参拝殿階段の下の集合写真は、中国系とおぼしきアベックの青年に雨中の撮影を依頼したところ、快く応じてくれた。





予定していた花ショウブの名所「菖蒲園」は、中止せざるを得なかったが、バスに乗ったまま、JR 中央線「信濃町」駅そばの「明治記念館」に到着。





山本さんの大阪同期会現状報告、竹村さんの乾杯に続いて、長谷が、この会場に決まった裏話を披露。在京26期の同期会を原宿駅そばの東郷神社記念館で毎年開いていることを教えられ、ちょっとした勘違いから、こちらに決まった。総合結婚式場として有名で、本館は「明治憲法草案審議」に使われた、という。木村が結婚式を挙げた由緒ある建物でもあるが、それは“結果”のおはなし。

たっぷりした時間を使って歓談、16全員の近況報告、展望などを語りあったころ、雨もあがったので、名物の庭園に出た。





また、東京二八会の今後についての意見交換も行われ、素案も得たが、それについては、30日に反省会を開き、検討する。
出席者には紙焼き写真を改めてお送りするが、反省会の決算報告後となります。

世話役

松原和子、筋田俊三、野田泰弘、水谷真次郎、伊藤公博、長谷聖一郎、木村英紀子